

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて ～地域とともにある学校への転換を進めましょう～

変化が激しく予測困難な未来がすぐそこまできています

新しい学習指導要領では、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現の重要性が示されました。「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校が地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」への転換を進めましょう。

これまでの学校



ホームページや通信などで、学校の様子を知らせています。

読み聞かせや見守り活動など学校の求めに応じた様々な形で協力いただいています。



地域の教育力を生かし積極的に支援を受ける「地域に開かれた学校」

地域と学校で育てたい子供像や目指すべき教育ビジョンを共有し、地域と学校がお互いに当事者として共通の目標に向かう。

「支援」から「連携・協働」へ

これからの学校

地域と学校が「これからの時代を生きる子供たちのために」という共通の思いをもって、広く子供たちの教育に関わり、子供たちの成長をともに担っていきます。

地域と学校の話合い (熟議)

- ・子供たちがどのような課題を抱えているか実態を共有します。
- ・学校、保護者、地域がそれぞれの立場から育てほしい子供の姿を語り合います。
- ・互いの立場で果たすべき役割への理解を深めます。

目標・ビジョンの共有

- ・自信をもった子供に育ててほしい。
- ・自分で考えて主体的に行動してほしい。
- ・確かな学力を育みたい。
- ・進んであいさつする子供に育ててほしい。
- ・育った町を誇りに思ってもらいたい。
- ・郷土の伝統を知ってもらいたい。
- ・心身の健康を増進してほしい。

など

地域とともにある学校の実践例(コミュニティ・スクール)

話し合いによる思いの共有

子供たちに自信をもってもらいたい！

子供たちに地域の行事を企画してもらおう！



地域もりあげ隊の結成



全校児童のみなさんで地域行事を盛り上げましょう！

児童・生徒の主体的な活動

地域行事を終えて

少し大変だったけど、たくさんの方がお礼を言ってくれてうれしかった。



自己有用感の高まり